

# 様々な「製品含有規制物質の管理」の課題に コンサル&受託分析サービスでお応えします。

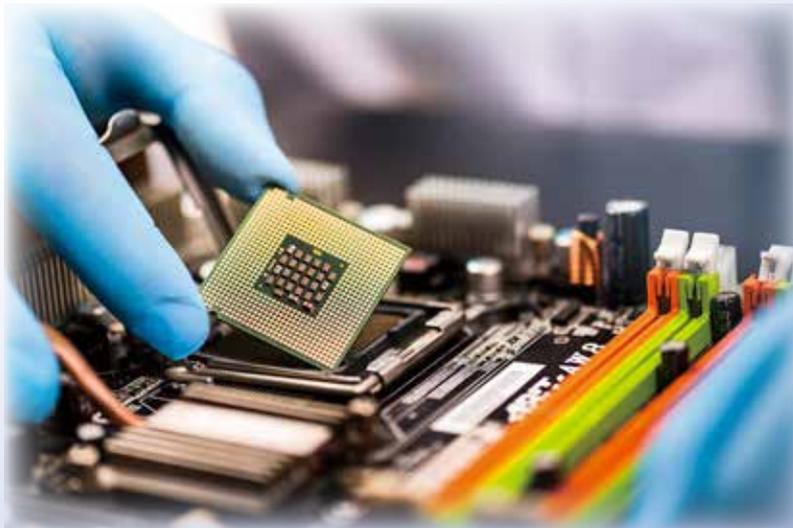
含有確認のために  
どのような分析が必要か？

製品に規制物質を  
含有するリスクは？

どのような分析を  
頼めば良い？

欧州RoHS・REACHを皮切りに、各国地域で「製品環境法規制」が強化され、顧客からの要求も厳しくなっています。皆さまのご要望に合わせて、様々な分析サービスを提案いたします。

1. 製品含有規制物質の分析コンサルティング
2. 最新の規制情報に対応した分析
3. 分析ノウハウを基に最適かつコストパフォーマンスの良い分析手法を提供



## 受託分析 (RoHS, REACH)

Testing & Analysis Services

# RoHS1、RoHS2、PFASなどの各種環境規制物質の分析に対応



## ●分析メニュー

スクリーニング分析	分析方法	精密分析	分析方法
RoHS指令6物質 Cd,Pb,Hg,Cr <sup>6+</sup> , PBBs,PBDEs	蛍光X線分析	PFAS物質 ・PFOA/PFOS ・ペルフルオロカルボン酸(C9-C14 PFCAs) ・パーフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS)	・溶媒抽出LC-MS/MS (検出下限10 ppb)
RoHS指令 鉛マッピング測定	マッピング 蛍光X線分析	TSCA規制5物質 ・DecaBDE ・PIP(3:1) ・2,4,6-TTBP ・PCTP ・HCBD	・溶媒抽出LC-MS/MS (検出下限5 ppm)
RoHS指令10物質 Cd,Pb,Hg,Cr <sup>6+</sup> , PBBs,PBDEs, DEHP,BBP,DBP,DIBP	蛍光X線分析 加熱脱離質量分析	テトラブロモビスフェノールA(TBBPA)	・溶媒抽出LC-MS (検出下限10 ppm)
RoHS指令 フタル酸エステル類4物質 DEHP,BBP,DBP,DIBP	加熱脱離質量分析	中鎖塩素化パラフィン(MCCPs)	・溶媒抽出GC-MS (検出下限50 ppm)
PFOA規制 (パーフルオロオクタン酸)	LC-MS	デクロランプラス	・溶媒抽出GC-MS (検出下限100 ppm)
TSCA規制PIP(3:1) フェノール, イソプロピル化フェニル化リン酸塩	蛍光X線分析	ベンゾトリアゾール系 紫外線吸収剤 UV-328	・溶媒抽出GC-MS (検出下限5 ppm)

### ■ お見積・ご依頼に関するお問い合わせ

株式会社日立ハイテクネクサス  
デジタルサプライチェーン推進部 担当: 飯塚  
E-Mail: yoshitaka.iizuka.rj@hitachi-hightech.com  
TEL: 080-6769-9035

※フリーコールスーパーのロゴはソフトバンク株式会社の日本における登録商標です。

### ■ 分析詳細に関するお問い合わせ

株式会社日立ハイテクサイエンス 受託分析担当  
E-Mail: hhs-rohs-ana.fy@hitachi-hightech.com  
☎ 0120-513-522

